

グラフィティ ■ わがまち福生



安全でクリーン、快適な暮らしを



国道16号線

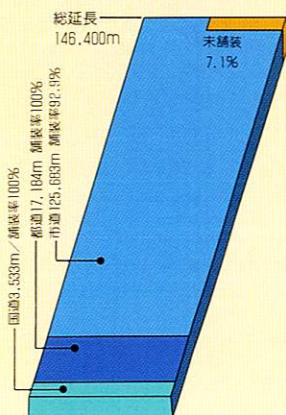
全国的に、地震や風水害など大型災害への危険が指摘され、いざという時に備えた万全の警戒態勢が求められています。また本市は西多摩地区の交通の要であるため、通過車が多く、交通事故に巻き込まれるケースもあります。

こうした事故を未然に防止し、また被害を最小限に食い止めることは、行政側の一方的な努力だけでは効果がありません。市民の一人ひとりが、都市化に伴う火災や交通事故、大型の自然災害に対する日常的な心構えと備えが必要です。「防災安全都市」は、市民と行政が一体となった取り組みによってつくられます。

■ 市内道路状況と公園比率

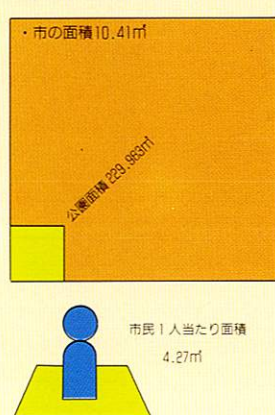
○ 道路延長と舗装率

昭和62年4月1日現在



○ 公園比率

昭和62年4月1日現在



生活環境づくり



婦警さんも熱心に交通安全指導



防災訓練



防災コンクール





水道事務所

下の川改修工事



水質検査



公園清掃

市民が安心して快適に暮らせるためには、長期的に生活環境を見通した計画と、それを実行する着実な努力がなければなりません。本市では、念願の公共下水道も昭和61年10月100パーセント工事を完了、ようやく近代的な都市環境の基礎が確立できました。

都市化と生活水準の向上は排出物の量を年々増大させていますが、ゴミ減量は市民の協力によって効果をあげつつあります。また新鋭の不燃ゴミ圧縮減容機の導入により、最終処分場の延命化にも大きな効果が期待されています。

CLEAN LIVING

Both waterworks and public sewerage systems were completed in our city. Waste disposal machines also run efficiently.



ゴミ減容圧縮機が設置されたリサイクルセンター

商店街(上)／住宅街(下)



ゴミ収集作業

高齢者事業団による駅前自転車整理



朝の通勤風景

